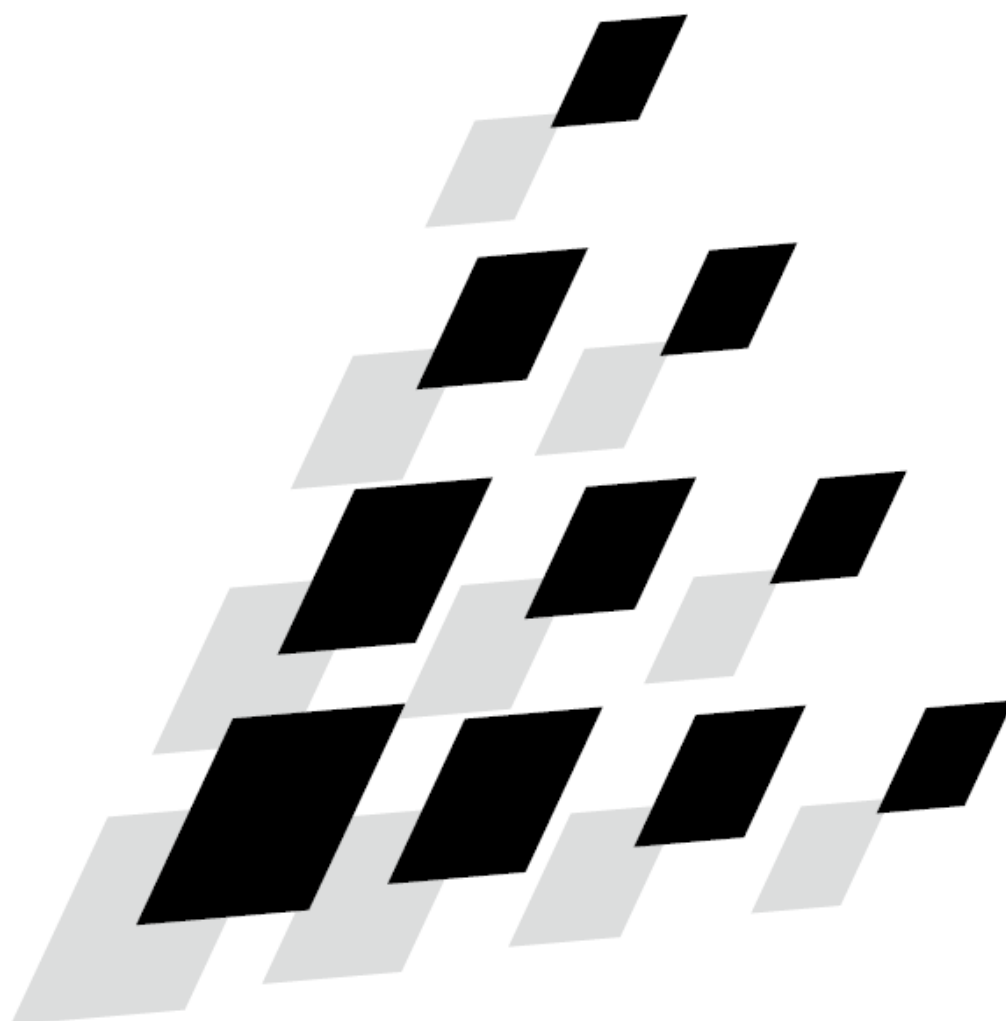
SERVIS™ Drawer Basic 17inch

ベーシックドロワー

[FD-1700 Series]

取扱説明書

FUJITSU

電波障害自主規制について

この装置は、クラスＡ 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

ハイセイフティ用途について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、(1)原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途ならびに(2)海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。
お客様は当該ハイセイフティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様又は第三者からの如何なる請求又は損害賠償に対しても、富士通コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

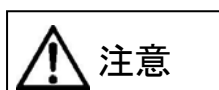
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Turbolinux の名称およびロゴは、Turbolinux,Inc.の商標または登録商標です。
Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat,Inc.の商標または登録商標です。
その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です

目次

はじめに

このたびは、サーバ用ラック搭載ベーシックドロワー（以降、本製品または本装置と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をお使いになると、ラック作業空間の効率と機能が大幅に改善されます。また、コンパクト設計のスライドモジュールの採用で、従来のソリューションに比べてより広くなるスペースを別のコンポーネントに利用できます。
17型TFTモニタの解像度は1280×1024で、表示色は1,677万色です。
また、テンキー付きキーボードと3ボタンポインティグデバイスを備えています。

表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害（ドロワーの損害など）が発生する可能性があることを示しています。

Point

この記号のあとの文書は補足説明､注釈､ヒントです。

- 文頭に数字（1.など）がある場合は、順序にしたがっておこなう必要がある操作を示しています。
- 参照する章のタイトルと用語を強調する場合は、カギ括弧（「　」）で囲んでいます。

梱包品の確認

次のものが、梱包されていることをお確かめください。

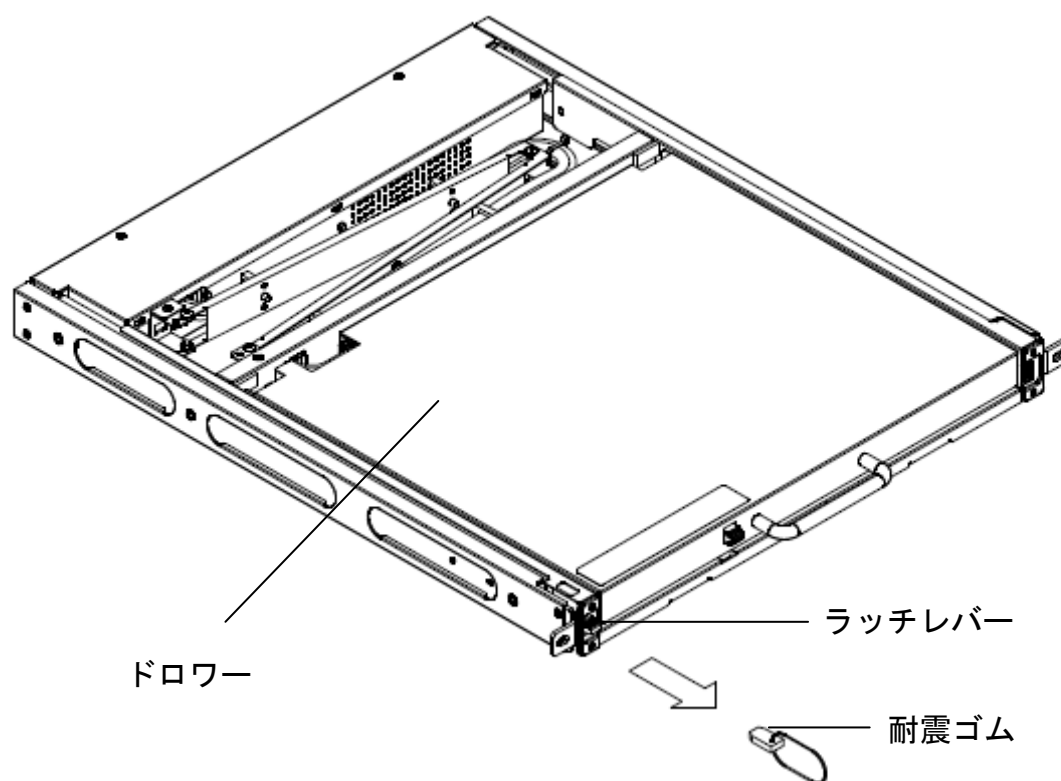
- 本装置本体　×1
- AC100V用電源ケーブル(2m)　×1
- 電源ケーブル抜け防止バンド　×1
- KB(PS/2)ケーブル(1.8m)　×1
- MS(PS/2)ケーブル(1.8m)　×1
- USBケーブル(1.8m)　×1
- モニタケーブル(1.8m)　×1
- ロゴプレート　×1
- 取扱説明書（本書）　×1
- 保証書　×1

購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要になることがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当までお申し付けください。

・「重要なお知らせ」の安全情報に注意してください。
・梱包箱から本体を取り出す際、モニタ部のハンドルを持たないでください。モニタ部だけが開き本体を落とす恐れがあります。

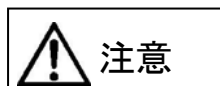
1. 開梱時は本体に損傷がないか、配送品を確認してください。
2. ドロワー前面左の耐震ゴムを引き抜いてください。

Point

耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動中にドロワーがスライドしないように差し込んであります。ドロワーをラックに取り付けた後も必要になることがありますので、必ず保管しておいてください。
耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動の際に必ず取付けてください。

耐震ゴム引き抜き図

重要なお知らせ

この章には、ドロワーで作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全性

安全上の注意

本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形および破損等が有る箱は、使用しないでください。本装置が破損する可能性があります。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「取り付け」の記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。
- 地域の路線電圧がこの装置の許容範囲であることを確認してください。定格電圧がこの装置にあうようにされていることを確認してください（「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください）。
- 本装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。ラックの電源コンセント以外には接続しないでください。感電、短絡の原因になります。
- 本装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き挿しがすぐにできるようにしてください。
- 損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外したりするときは、「取り付け」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに本装置の電源ケーブルをはずして、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

- 本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが本装置を開き誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがあります。
- ドロワーを引き出した状態では、装置の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。
- ドロワーを使用しない場合やドロワー以外のサーバや周辺機器などを操作する場合には、ドロワーをラック内に格納することを推奨します。
- 体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
- ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- 濡れた手での使用は避けてください。
- 濡れた手でコネクタの抜き挿しをしないでください。
- 本装置の上には、コップなど不要な物をおかないでください。
- 改造または修理をしないでください。
- 警告マーク（稲妻マークなど）が付いている部品（電源装置など）の分解、取り外し、交換は、資格のある人以外はできません。
- 「モニタの調節」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。ご不明な点は、お買い求めの販売店または担当保守員にご連絡ください。
- 周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となります。
- 線路電圧を切断するときには、専用ラックの電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- サーバを清掃するときは、「操作」の該当部分にしたがってください。
- 本説明書は本装置とともに大切に保管してください。本装置を第三者に譲渡する場合は、本説明書も譲渡してください。
- ドロワーを引き出した状態で、脚立代わりに使用したり、よりかかったりすると、ラックが転倒する可能性があるので危険です。
- 本製品には有寿命部品（LCDなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
- 本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用年数）は5年が目安です。※1日8時間で月当たり200時間動作、使用環境が25℃を想定した場合の目安です。ただし、有寿命部品を除きます。

廃棄について

本装置は金属、プラスチック部品及び液晶蛍光管の中には水銀を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

本装置の運搬

本装置を別の場所に運搬する際は、購入されたときに本装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。運搬処理がすべて完了するまで、ドロワーは開梱しないでください。

取り付け

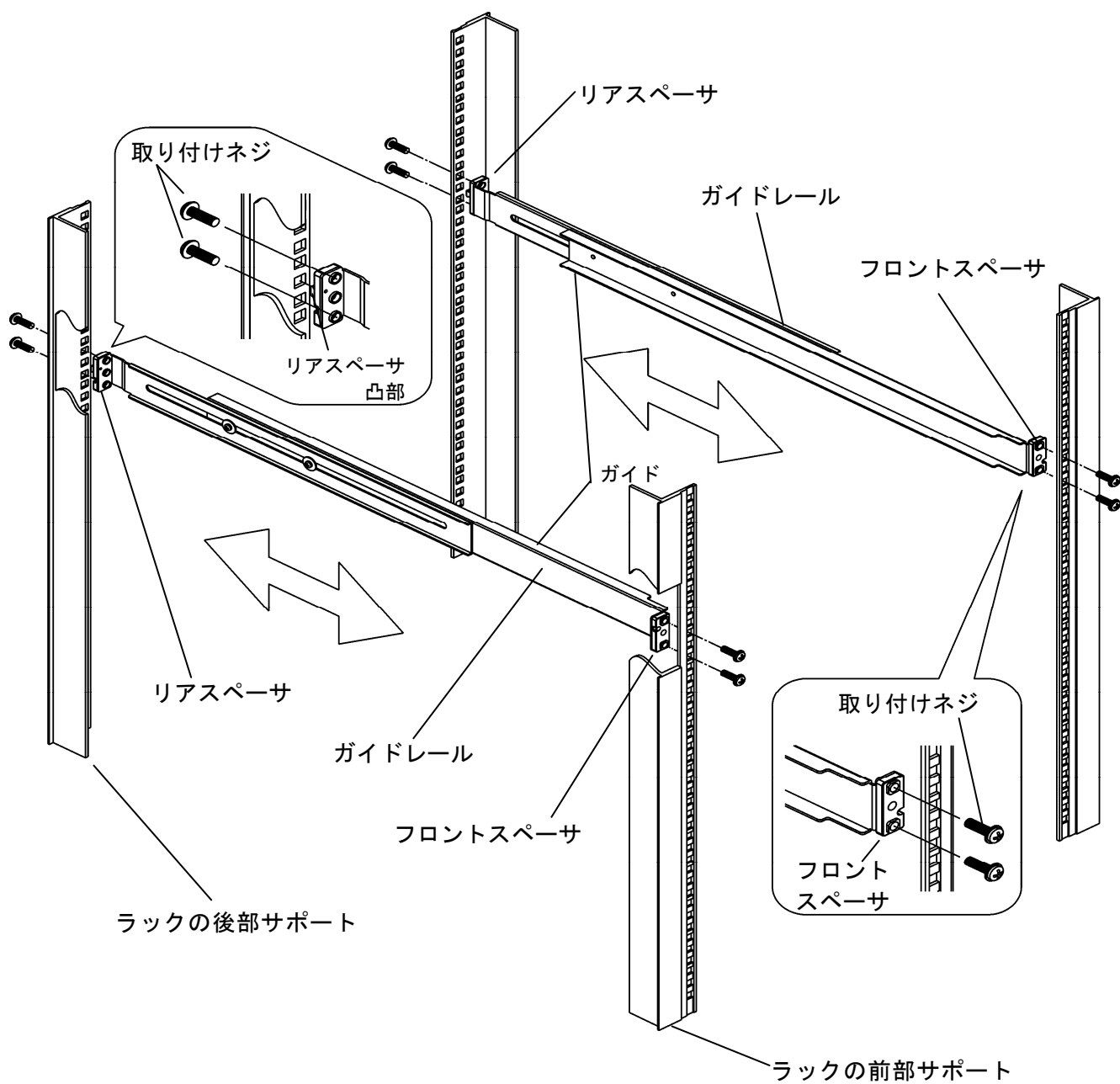
「重要なお知らせ」の安全情報をよく読んでください。

ガイドレール及びドロワーの取り付け

ドロワーは、設置環境を守ってご使用ください（「技術仕様」を参照してください）。ほこり、湿度、熱を避けてください。必要な場合は、取り付けを2人以上でおこなってください。ドロワーとガイドレールの間に、指や手を挟まないように注意してください。

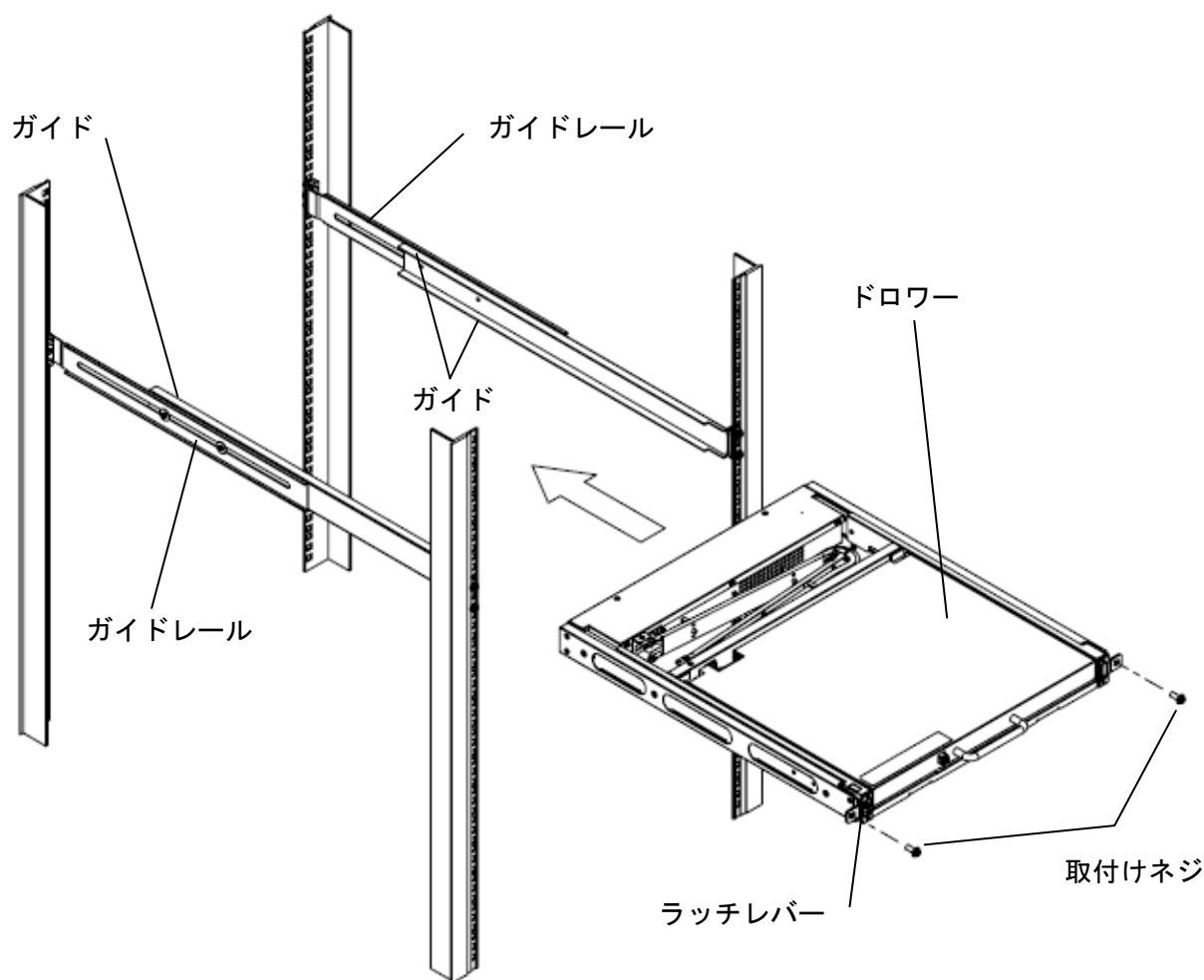
本説明はFP-G001(NC14003-T591-R)を使用した場合となります。
他のガイドレール取り付けについては、ガイドレールに同梱されている取り付け説明書を参照ください。

1. ガイドレールのリアスペーサ凸部をラック後部のサポート穴に入れ、ラック前部のサポート内側までガイドレールを伸ばします。フロントスペーサ上下2箇所の穴とサポートを取り付けネジで固定し、リアスペーサ上下2箇所の穴とサポートを取り付けネジで固定します。
（左右のガイドレールは同じ高さに取り付けます。）

ガイドレールは、ドロワーが載せられるように、ガイドを前方、中側を向くように取り付けます。
ガイドレールは、ラックのサポート内側に取り付けてください。
7ページのガイドレール取り付け図を参照してください。

ガイドレール取り付け図

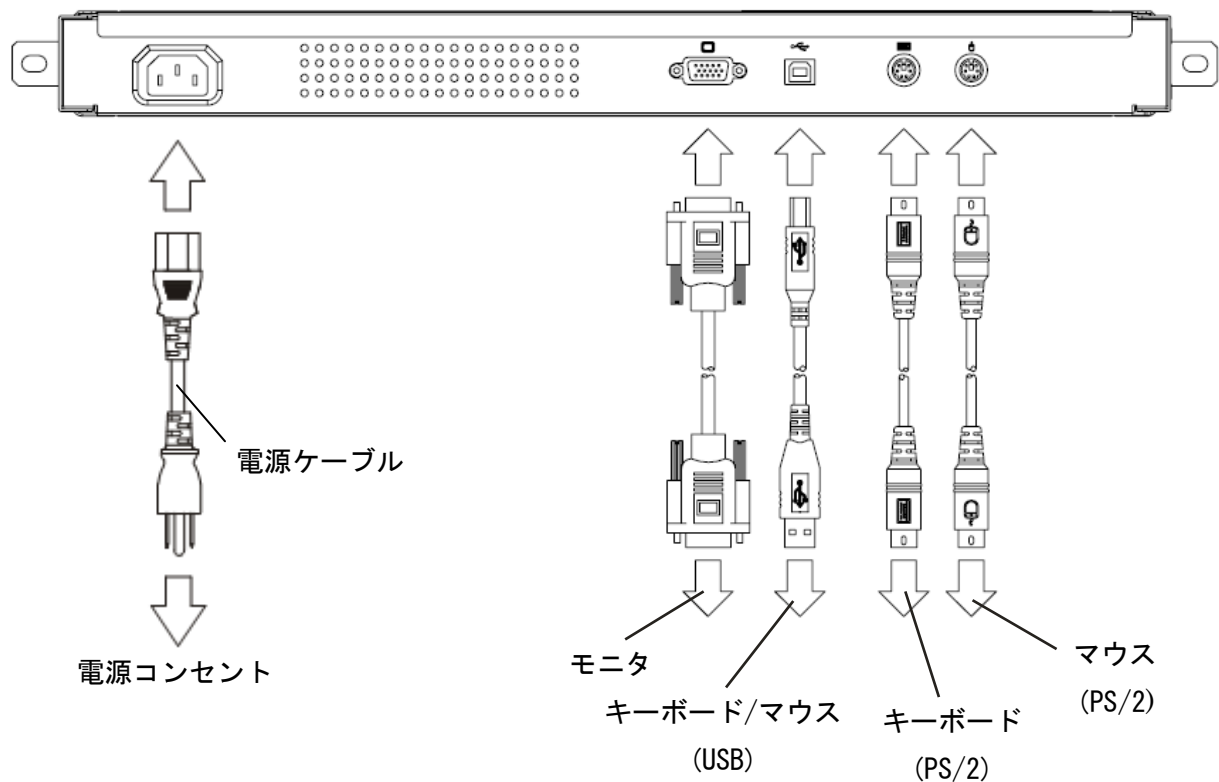
2. ガイドレール前方からドロワーを入れます。

Point ラッチレバーが解除されないように注意してください。ラッチレバーが解除されているとドロワーがスライドするおそれがあります。
ガイドレールにドロワーが入らないときや重い場合は、2人以上で持って入れてください。
ドロワーを持ち上げるときは、モニタ部ハンドルを持たないでください。モニタ部だけが開き、本体を落とすおそれがあります。

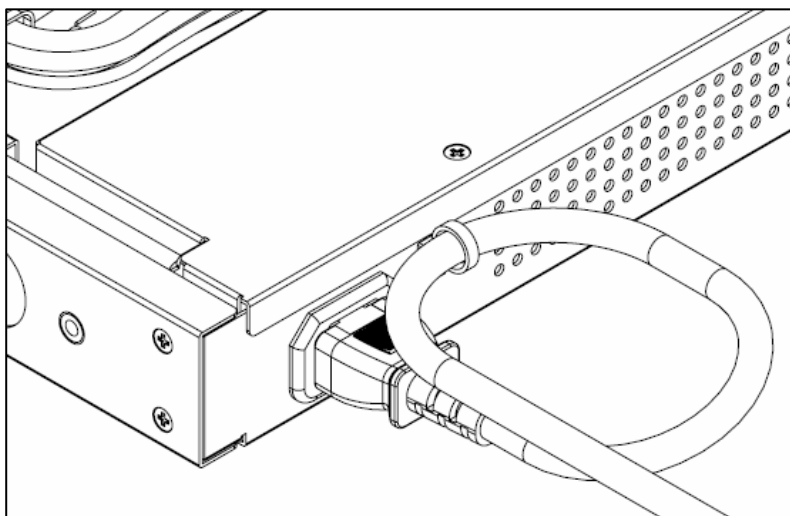
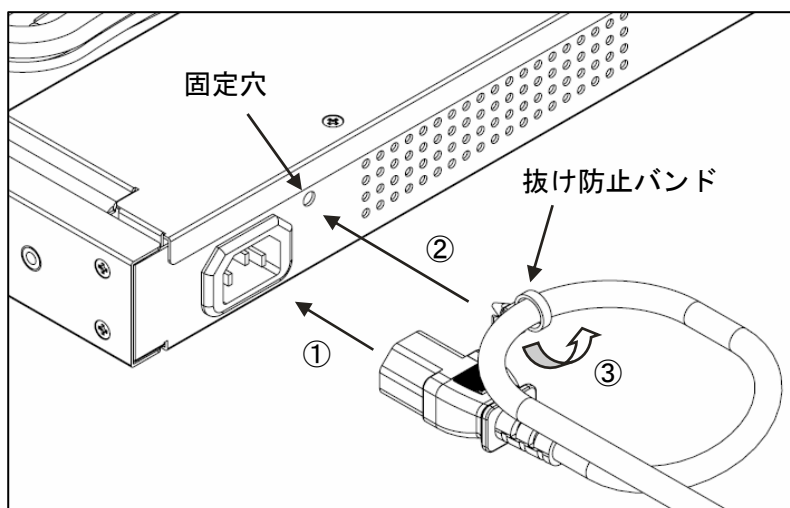
3. ドロワーは、止まるまで押し込み、前面２カ所を取り付けネジで固定します。

ドロワー取付け図

ケーブルの接続と取り外し

ケーブルの接続

1. 影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜きます。
2. 添付のKB(PS/2)ケーブル、MS(PS/2)ケーブル、USBケーブル、モニタケーブルを本装置とサーバに接続します。
3. 電源ケーブルをドロワーの電源ソケットに差し込みます。
4. 電源ケーブルをラックの電源コンセントに差し込みます。

ケーブル接続図

電源ケーブルの抜け防止用バンド取り付け手順

①電源ケーブルを電源ソケットに差し込みます。
②抜け防止バンドを本装置の固定穴に差し込みます。
③電源ケーブルを抜け防止バンドで固定します。

ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いてから、各ケーブルを取り外してください。USBケーブルの場合は、サーバが動作している状態でケーブルの取り外しが可能です。

操作

ドロワーは、スライドレールがロックされるまでゆっくり手前に引き出してください。
ロックされていない場合、もたれ掛かるとドロワーは動いてしまいます。
スライドモジュールの引き出し、押し込み時やLCDの開閉時などを実施する際には、手を挟まないよう十分注意して実施してください。

注意

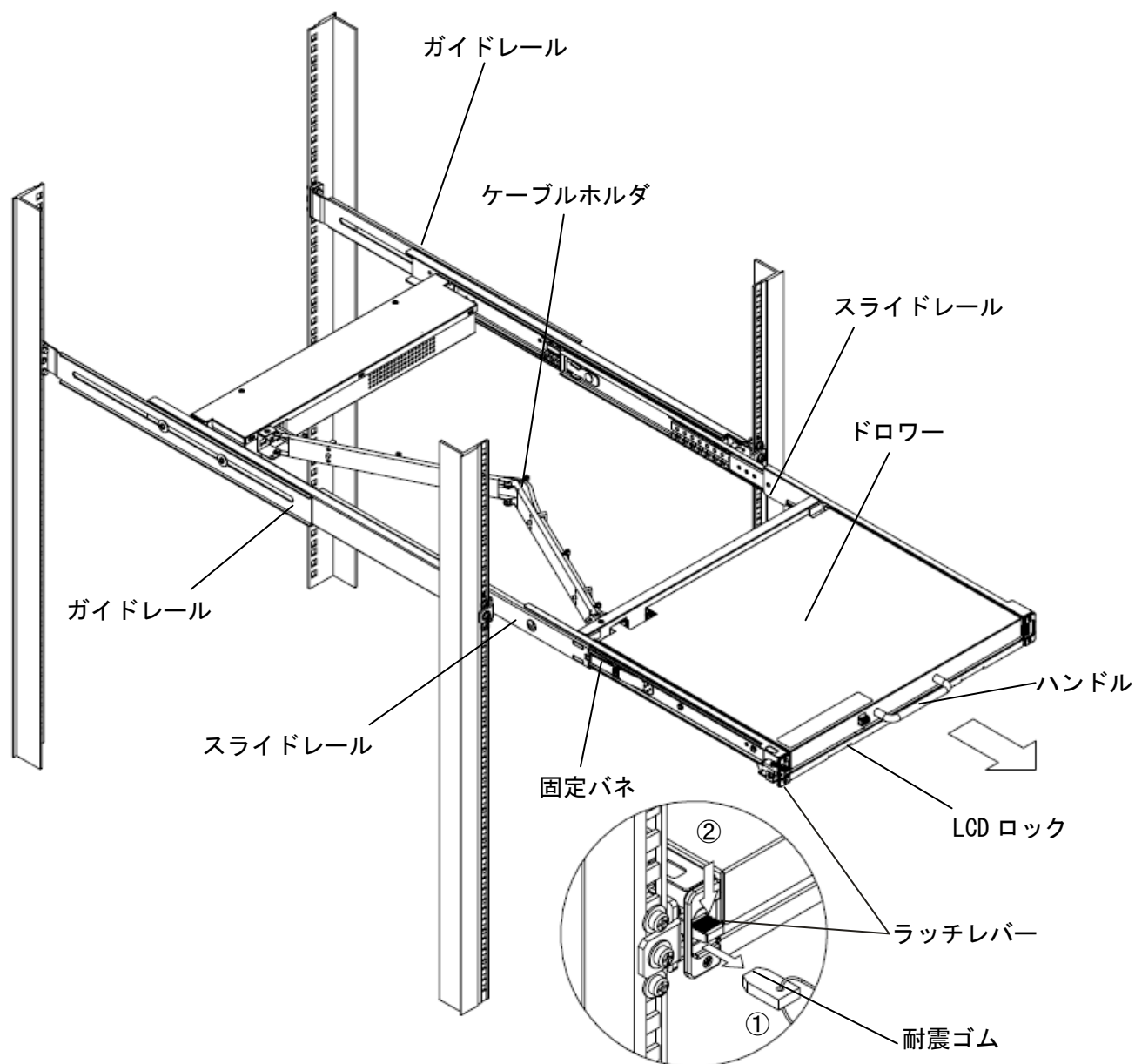
ドロワーを引き出しているときやモニタ部を開いていて使用している場合に、強い力を加えると、ラックが転倒するおそれがありますので注意してください。
モニタ画面を強く押したり、硬いものでこすったり、磁石などを近づけないでください。破損の原因になります。

注意

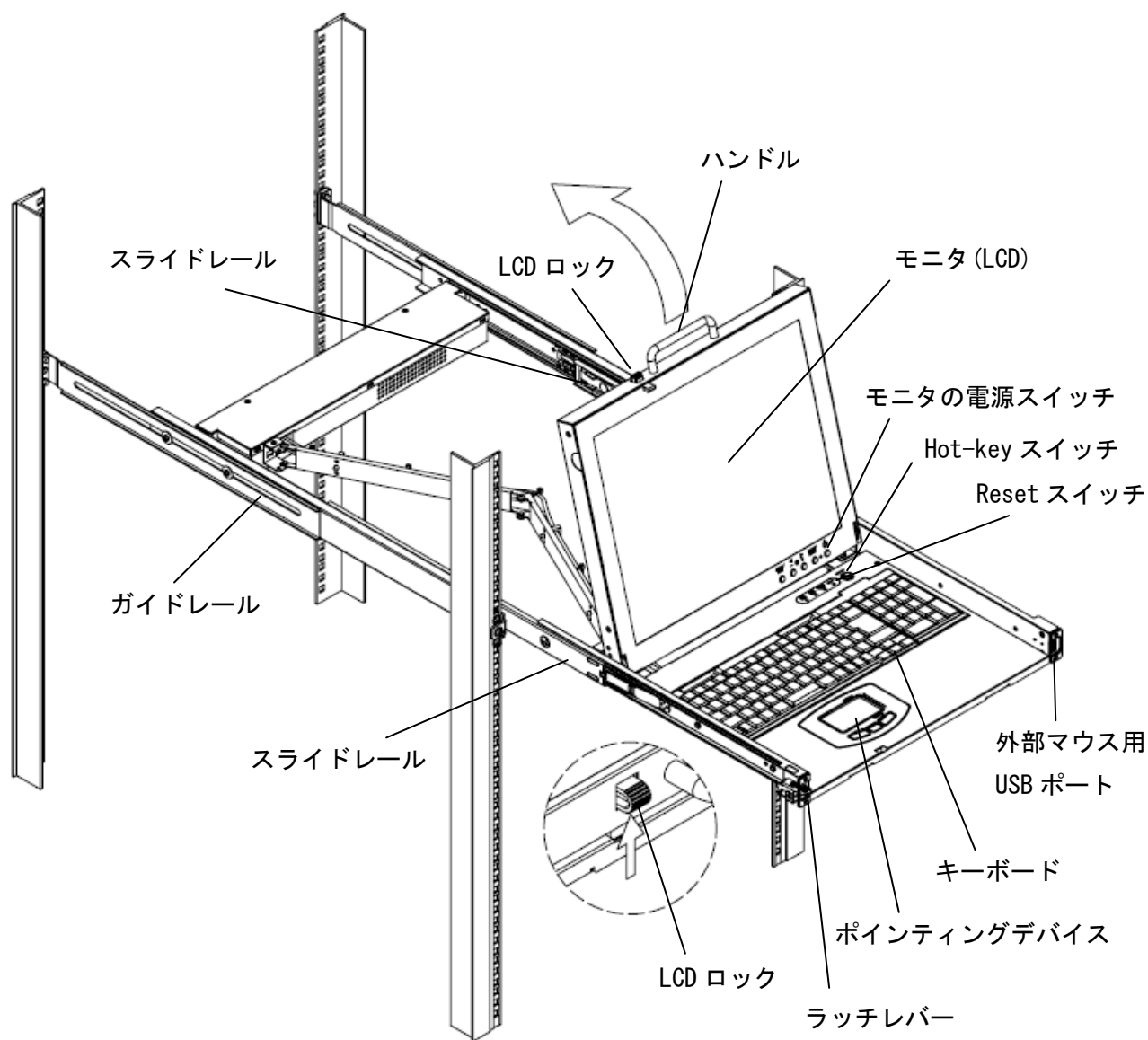
ドロワーを引き出した状態では、装置の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。
ドロワーを使用しない時やドロワー以外の操作［サーバや周辺機器など］を実施する必要な場合には、ドロワーをラック内に格納することを推奨します。

ドロワーの操作

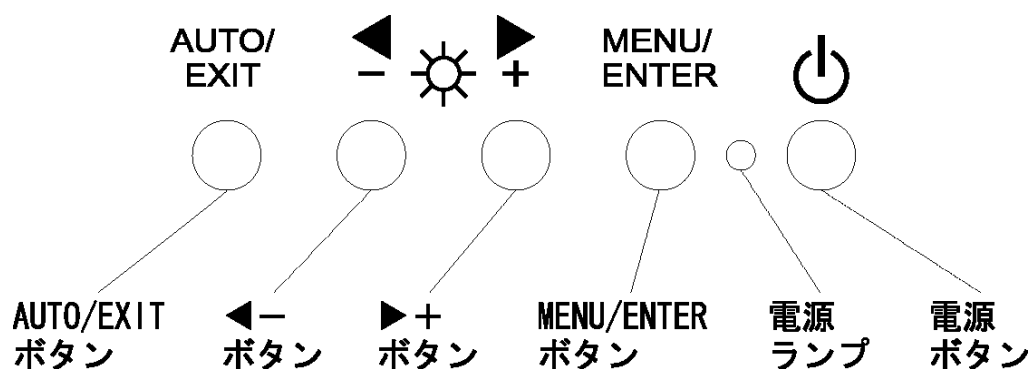
1. 耐震ゴムを引き抜いていない場合は、引き抜いてください。
2. ドロワー前面左側のラッチレバーを押し下げ、ハンドルを持ってドロワーを引き出します。ドロワー本体は、カチッと音がするまで引き出してください。

ドロワーの前面両側のネジ（左右1箇所）がラックに固定されていることを確認してから引き出してください。

スライドレール引き出し図

3. ハンドル左側のLCDロックを押し上げて、ハンドルを持ちモニタを上側に開きます。
4. 電源ボタンを押して、モニタの電源を入れます。

モニタ部は完全に引き起こしてご使用ください。

LCD開閉図

モニタの調整

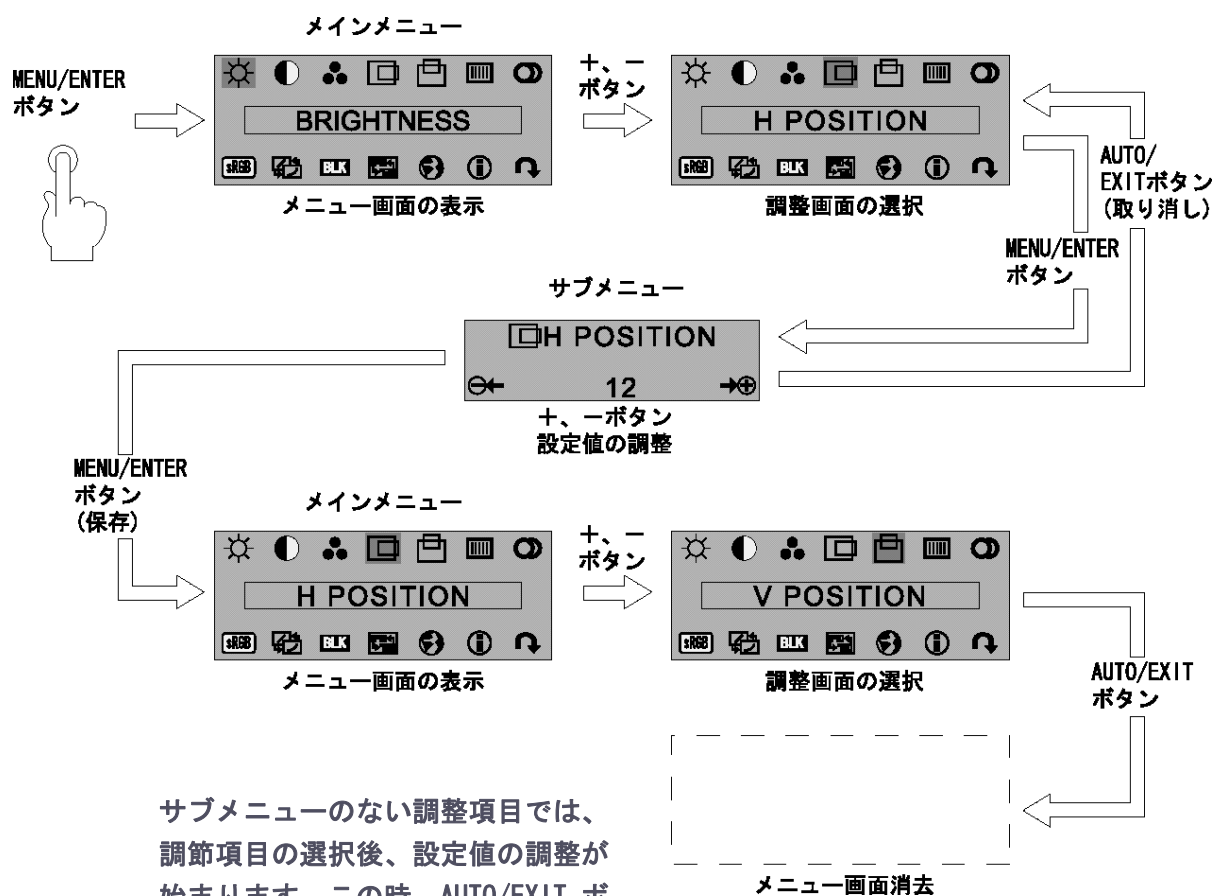
モニタ部には、1つのLEDと5つのボタンがあり、右から順番に説明します。

電源ボタン：	モニタの電源を入れるときに押します。また、電源が入っているときに押すとモニタの電源が切れます。
電源ランプ：	モニタの電源が入っているときに青色に点灯し、省電力状態の時は橙色に点灯します。モニタの電源が切れていると消灯します。
MENU/ENTERボタン：	メニュー画面の表示、調整項目の決定、設定値を保存する場合に押します。
▶＋ボタン：	右方を選択するときや値を増やす方向に変化させる場合に押します。
◀－ボタン：	左方を選択するときや値を減らす方向に変化させる場合に押します。
AUTO/EXITボタン：	メニュー画面の消去、調節項目の取り消し、設定値の取り消し、自動調節する場合に押します。

Point

メニュー画面を表示させずに、▶＋、◀－ボタンを押すと画面の明るさ(BRIGHTNESS)を直接調整することができます。
メニュー画面を表示させずに、AUTO/EXITボタンを押すと自動調整（POSITIONとFOCUS）を行います。

基本的な調整方法

基本的な調整方法を下図に表します

メインメニュー
MENU/ENTER
ボタン
BRIGHTNESS
メニュー画面の表示
+、ー
ボタン
H POSITION
調整画面の選択
AUTO/
EXITボタン
(取り消し)
MENU/ENTER
ボタン
サブメニュー
H POSITION
12
+、ーボタン
設定値の調整
MENU/ENTER
ボタン
(保存)
メインメニュー
H POSITION
メニュー画面の表示
+、ー
ボタン
V POSITION
調整画面の選択
AUTO/EXIT
ボタン
メニュー画面消去

サブメニューのない調整項目では、調節項目の選択後、設定値の調整が始まります。この時、AUTO/EXIT ボタンを押すと、メニューに戻りますが、設定は保存されません。

ただし、メニュー画面を表示させずに、▶ +、◀ ーボタンを押した時の画面の明るさ(BRIGHTNESS)調整の場合は、設定値を変更する毎に保存されます。

調整項目

記号	英語表示	調整内容
	BRIGHTNESS	画面全体の明るさを調整します。
	CONTRAST	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。
	COLOR	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤/ 緑/ 青の色合いを個別に設定できます。
	H POSITION	表示位置を左右に調整します。
	V POSITION	表示位置を上下に調整します。
	CLOCK	帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します。
	FOCUS	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
sRGB	sRGB	sRGB のON/OFF の切り替えができます。
BLK	BLACK LEVEL	黒色のオフセット基準を任意に設定できます。
	GRADATION	コントラストカーブの切り替えができます。中間調での表現を変えることができます。
640 720	TEXT MODE	DOS 画面表示時の解像度を設定できます。 英語DOS時は、720 × 400を選択してください。
	LANGUAGE	表示言語を変更します。 （英語、ﾄﾞｲﾂ語、ｲﾀﾘｱ語、ﾌﾗﾝｽ語、ｽﾍﾟｲﾝ語）
	INFORMATION	現在表示されている解像度、垂直同期周波数および各種調整項目(一部を除く)の設定値を表示します。
	RECALL	ご購入時の設定値に戻します。 ・READJUSTING 全項目を戻します。 ・ GEOMETRY 表示している解像度(モード)の画面位置、クロックおよびフォーカスを戻します。 ・ COLOR ブライトネス、コントラスト、黒レベル、およびカラー調整を戻します。

解像度とリフレッシュレート

解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	モード
640X400	31.5	70	VGA 400 LINE
640X480	31.5	60	VGA Standard
	37.5	75	VESA
	37.9	72	
720X400	31.5	70	
800X600	35.2	56	
	37.9	60	
	46.9	75	
	48.1	72	
1024X768	48.4	60	
	56.5	70	
	60.0	75	
1280X1024	64.0	60	
	80.0	75	
1152X900	61.9	66	ORACLE(SUN) ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ
	71.8	76	
1280X1024	71.4	67	

LCD の表示に関する注意事項
電源投入直後やOS 起動時または終了時には画面の表示位置がずれたり、画面が点滅したり、乱れたりすることがありますが故障ではありませんのでそのままご使用ください。
1280×1024 以外の解像度もすべてフルスクリーン表示となります。
1280×1024 以外の解像度では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。
これは、擬似的に拡大表示（フルスクリーン表示）しているためであり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。
画面上の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、液晶モニタの特性であり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。

OS に Linux をご使用の場合について

⚠ 注意

本装置をLinuxでご使用になる場合には、以下の注意事項をよくお読みになり、正しい設定でご使用ください。

- X Window Systemの設定については以下の解像度、リフレッシュレート、表示色で使用することを推奨します。
- 推奨値以外の設定では、画面が乱れたり、表示できなかったりする場合があります。

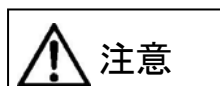
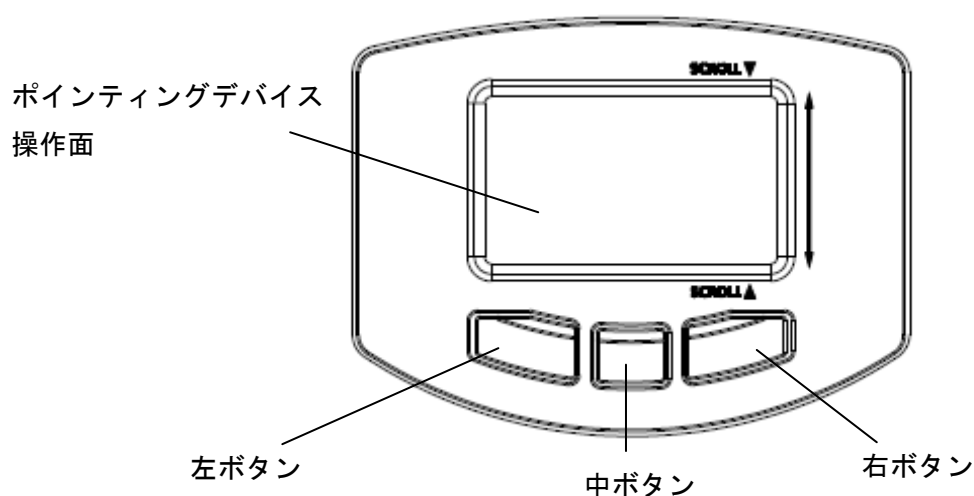
ディストリビューション	推奨値		
	解像度	リフレッシュレート（Hz）	表示色
Turbolinux Server 日本語版 6.1	1024×768	70	65536
Turbolinux Server 6.5	1024×768	70	65536
Turbolinux 7 Server	1024×768	75	―
Turbolinux 8 Server	1024×768	75	―
RED HAT LINUX 7J PROFESSIONAL SERVER	1024×768	70	65536
Red Hat Linux 7.2 Professional	1024×768	75	―
Red Hat Linux 7.3	1024×768	75	―
Red Hat Linux 8.0	1024×768	75	―
Red Hat Linux 9	1024×768	75	―
Red Hat Enterprise Linux AS (v. 2.1)	1024×768	75	―
Red Hat Enterprise Linux ES (v. 2.1)	1024×768	70	―
Red Hat Enterprise Linux AS (v. 3)	1024×768	75	―
Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)	1024×768	75	―

- なお、本装置をLinux でご使用になる場合には、必ずLinux バンドルモデル本体に添付しているリリースノートをよくお読みの上、ご使用ください。

キーボードの操作

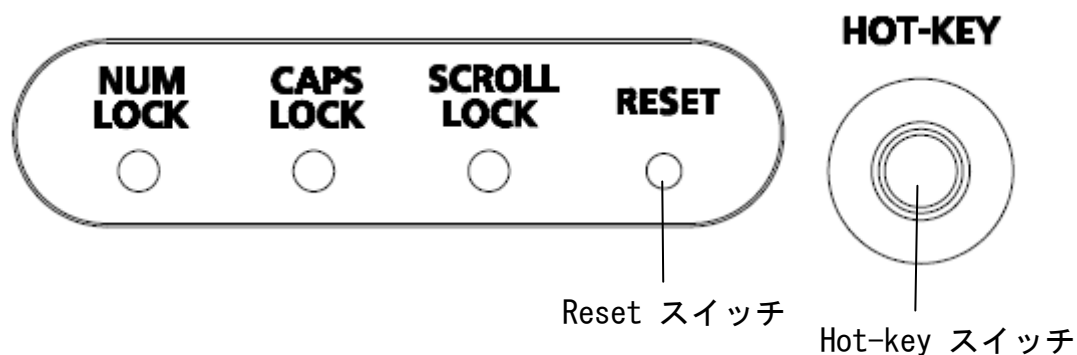
Ｆｎ キーとの組み合わせにより、フルキーボードと同等の操作が可能です。

ポインティングデバイスの操作

指で操作面上を軽く滑らせる、また軽く叩く事で操作してください。
ポインタの移動：操作面上を動かしたい方向に軽く滑らせるだけでＯＫ です。
シングルクリック：操作面を軽く1度叩く、または左ボタンを1度クリック。
ダブルクリック：操作面を軽く2度叩く、または左ボタンを2度クリック。

① 1本の指で操作するように設計されていますので、以下のような場合は動作しません。
  1） 手袋をした指で操作
  2） ペン、ボールペン、鉛筆などの操作
  3） 2本以上の指での操作
  4） その他の異物を操作面に載せたままでの操作

② 操作面に水滴が付着していたり、結露していたりする場合、濡れた指、汗で湿った指で操作した場合、正常に操作できない場合があります。十分乾燥させるか拭き取ってから使用してください。

③ 傷の原因となりますので、ペンなどの先のとがった金属で操作しないでください。

Hot-key スイッチと Reset スイッチについて

Num Lock LED　　：Num Lock 有効(LED On)/ 無効(LED OFF)

Caps Lock LED　 ：Caps Lock 有効(LED On)/ 無効(LED OFF)

Scroll Lock LED ：Scroll Lock 有効(LED On)/ 無効(LED OFF)

Reset SW　　　　：通常は使用しません。万が一、KVM 接続時にサーバ選択が出来ない場合やキーボード、マウスの操作が出来なくなった場合に使用します。金属製のピン等の先で軽く押してください。

Hot-key SW　　　：サーバを切替えるための OSD(On Screen Display)表示を出す時に押します。

ドロワーの格納

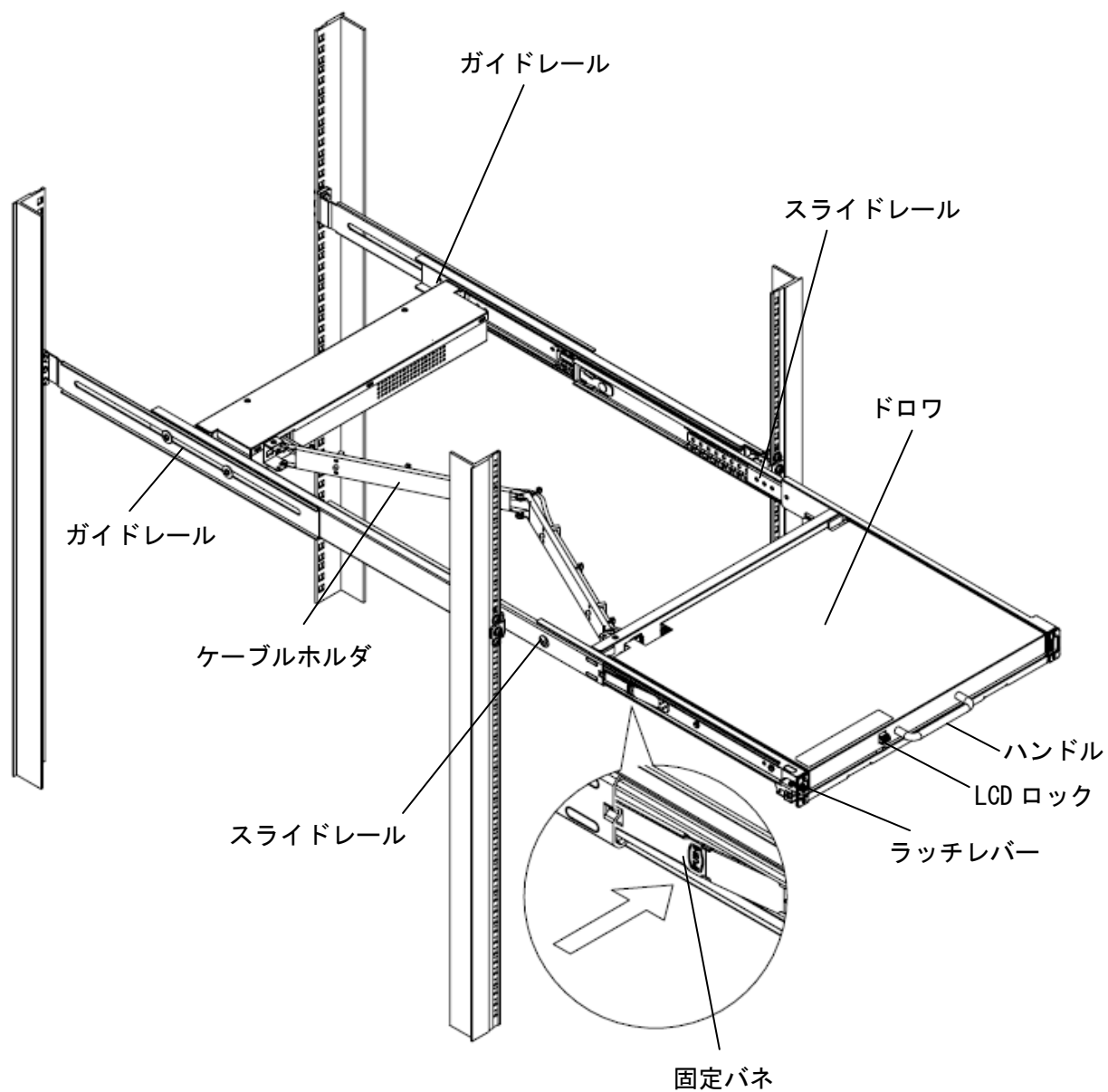
モニタとキーボードが必要ない場合は、ドロワーをラックに格納することができます。

Point　ドロワー本体の出し入れはゆっくりとおこなってください。

---

1. モニタの電源ボタンを押して、モニタの電源を切ります。
2. ハンドルを持ってゆっくりとモニタ部を閉じます。LCDロックが掛かったことを確認します。
3. スライドレール両側の固定バネを押してドロワー本体をラックに押し込みます。ラッチレバーが掛かったことを確かめます。

ドロワーを格納する場合、ガイドレールやスライドレール、ドロワー本体に指や手を挟まないように注意してください。
ラッチレバーが掛かっていないとラックを動かしたときに、ドロワーが出てくる場合があります。

Point　モニタをご使用にならないときは、省電力のためモニタの電源を切るかラックに格納することを推奨します。
ドロワーをラックに格納すると自動的にモニタの電源が切れます。

スライドモジュール押し込み図

トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。

1.画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法
電源ランプが消灯している。	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。
	電源ボタンが入っていない	電源ボタンを入れてください。
電源ランプがオレンジ色に点灯している。またはMENU/ENTERボタンを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される。	サーバがスタンバイ状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。スタンバイ状態が解除されます。
	モニタケーブルがサーバ本体に、正しく接続されていない。	パソコン本体にモニタケーブルを正しく接続してください。
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない。 場合によっては以下のメッセージも表示される。 「OUT OF RANGE H:***kHz V:***Hz SEE USER'S MANUAL」 「NO SYNC SIGNAL SEE USER'S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度とリフレッシュレートに変更してください。
	サーバ本体より後に本製品の電源を入れた。	サーバ本体と同時またはそれ以前に本製品の電源を入れてください。
	モニタケーブルが、サーバ本体に正しく接続されていない。	サーバ本体にモニタケーブルを正しく接続してください。

2. 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法
格子状の表示画面がちらつく。	フォーカスが合っていない。	ファーカス調整してください。
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面の調節が適切でない。	クロックの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。
表示がはみ出る。 または、画面いっぱいに表示されない。	画面位置の調節が適切でない。	クロックの調整を行ったあとに画面位置の調整を行ったください。
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。
画面が消えることがある。	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。
文字の太さが場所によって異なる。	フォーカス、クロックの調整が適切でない。	クロックの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。
	1280X1024より低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面するには「画面のプロパティ」で解像度を1280X1024に設定してください。

3. 画面調節ができない。

症状	考えられる原因	対処方法
AUTO/EXITボタンによる自動調整ができず、以下のメッセージが表示される。 「AUTO ADJUSTMENT FAILED SEE USE’S MANUAL」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整を行われた。	表示画面全体を出来るだけ白画面にして、AUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。
「UNSUPPORTED MODE SEE USE’S MANUAL」	標準表示仕様の解像度とリフレッシュレートになっている。	メニュー画面のインフォメーションにより、現在表示されている解像度とリフレッシュレートを確認し、サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。

ドロワーのお手入れ

モニタの電源を切り、電源ソケットから電源プラグを抜いてください。
研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用しないでください。
水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や破損の原因になります。

ドロワー本体とモニタの筐体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水に浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。
ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

キーボードとポインティングデバイスを清掃するには、殺菌した布を使用してください。

モニタ画面は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

技術仕様

型名：	FD-1700AT/J、FD-1700AT/JW

●電気仕様

定格電圧範囲：	100V AC
周波数：	50／60Hz
消費電流：	0.65A

●外形寸法

本体部： 取っ手含む（リア突起部は除く）

	（W ）×（D ）×（H ）
(1)スライドレール縮小時	483mm ×555mm ×42mm
(2)スライドレール伸張時	483mm ×1005mm ×42mm
(3)(2)＋LCD 引き起こし時	483mm ×1005mm ×359mm

●質量	12kg

●環境条件

動作温度/湿度：	使用時 10～35℃/20～80%RH （使用時の結露は避けてください。） サーバの環境条件に準ずる

●モニタ

パネルタイプ：	17インチ TFTｶﾗｰ液晶
解像度：	最大水平1280（ドット）×垂直1024（ライン）
コントラスト比：	600：1(Typ)
リフレッシュレート：	最大 75Hz
表示色：	最大 1,677万色 （ディザリング）
輝度：	185cd/m^2(Typ)
コネクタ：	Mini D-Sub 15Pin（アナログRGB ）
消費電力：	最大30W 以下 省電力時 3W 以下 電源スイッチOFF時 3W 以下

●キーボード

配列：	日本語配列
キー数：	108キー(JP)
インターフェース：	PS/2、USB対応キーボードインターフェース

●ポインティングデバイス

方式：	静電容量方式
タップ機能：	有り（シングルクリック、ダブルクリック、ドラッグ）
スイッチ数：	3
インターフェース：	PS/2、USB対応マウスインターフェース

●ガイドレール（別売）

型　名	ラック取り付け穴	備　考
FP-G001 (NC14003-T591-R)	M6 タップ有り	M6 ネジ添付　前後からの取り付け 43mm(W)×600～865mm(D)※1×44mm
FP-G003 (NC14003-T595-R)	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付　サイドからの取り付け 43mm(W)×440～750mm(D)※1×44mm
FP-G002 (NC14003-T596-R)	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付　前後からの取り付け 43mm(W)×600～900mm(D)※1×44mm

※1：無段階で調節可能

SERVIS™ Drawer Basic 17inch [FD-1700シリーズ]

取扱説明書

発行日　　　　　2012年10月 第1版発行
発行責任者　　　富士通コンポーネント株式会社

Printed in Japan

この説明書は再生紙を使用しています。

NC14010-L513-01
121101